

講 義 要 項

授業科目		家族看護学			担当者	
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後	
	1 単位	15 時間	講義・事例学習		2年次・前期	
授 業 目 標						
1. 個人・家族の文化・社会・価値観などの多様性を解釈できる。 2. 様々な家族形態からそれぞれの持つ機能や役割・発達課題を述べるができる。 3. 在宅看護の対象者としての家族について理解し、家族への支援について例を挙げることができる。						
単元名	目 標	内 容		時間	単位	授業方法
1. 家族看護の対象	在宅看護の対象者としての家族について解釈することができる。	1. 家族とは 1) 家族のとらえ方 2) 家族の定義 3) 家族の健康 2. 家族構造 1) 血縁関係・親族関係を把握する方法 2) 家族と家族外の関係性を把握する方法 3. 家族機能		4		講義
2. 現代の家族とその課題	多様化する家族の文化・社会・価値観を知り、現代家族が抱える問題を解釈することができる。	1. 現代家族の様相 1) 家族構造・形態の変遷 2) 家族の多様性 2. 現代家族の課題		2		講義 事例学習
3. 家族看護を支える理論と介入法	家族という集団をシステムとしてとらえ、家族の問題解決に向けた様々な介入方法を理解する。	1. 家族を理解するための理論 1) 家族発達理論 2) 家族システム理論 3) 家族ストレス対処理論 2. 家族に変化をもたらすための介入 1) 家族療法 2) 家族を支える介入 3) 地域システムの視点から家族を支える		2		講義
4. 家族看護展開の方法	療養者と家族を一つの単位としてとらえ、家族看護過程のプロセスを理解することができる。	1. 家族看護過程とは 1) 家族看護過程の視点 2) 家族看護過程の枠組み 2. 家族看護の思考過程 1) 情報収集 2) 家族アセスメント 3) 家族の看護問題の明確化 4) 家族看護計画の立案・実施・評価 3. さまざまな家族アセスメントモデル		6		事例学習
		修得試験		1	1	
参 考 文 献 等 評 価 備 考	1. 系統看護学講座 別巻 家族看護学, 医学書院。					
	1. 単位修得試験・出席状況・課題提出状況・GW参加状況・受講態度					